

雲仙岳

概況

火山活動に大きな変化は認められず、引き続き静かな状態が続きました。

噴煙活動の状況

噴煙は白色・極少量で、噴煙高度の最高は26日の30m(8月30m)でした(図1、図5)。

地震・微動活動の状況

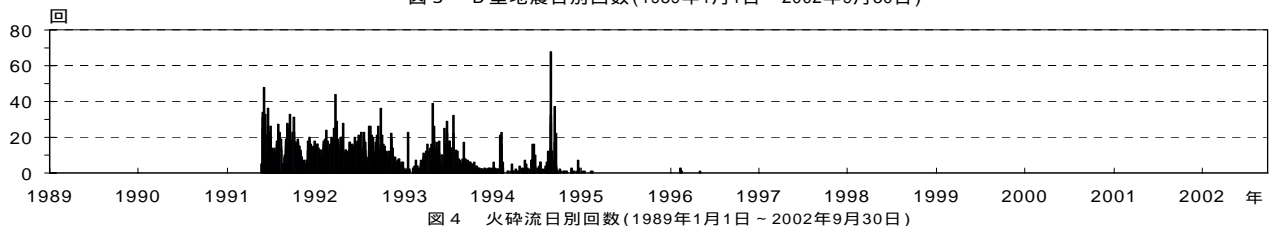
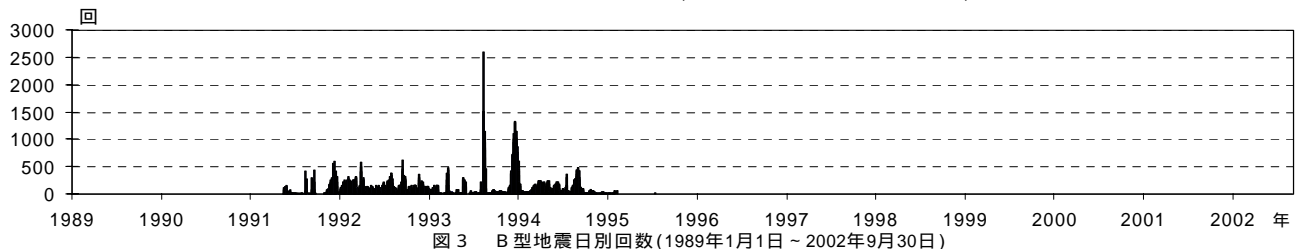
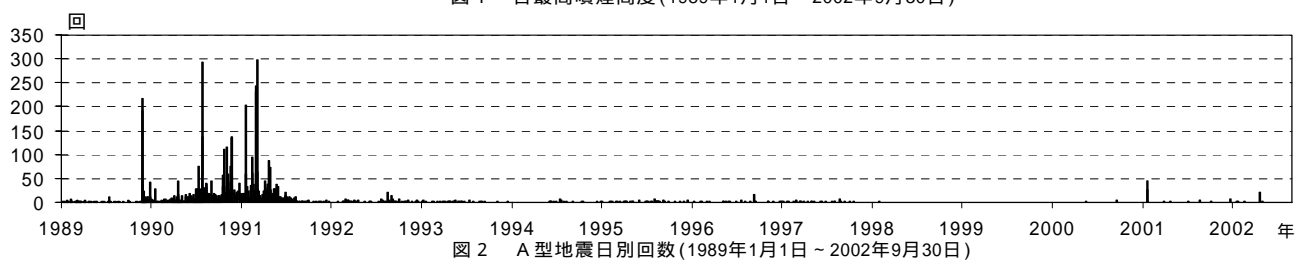
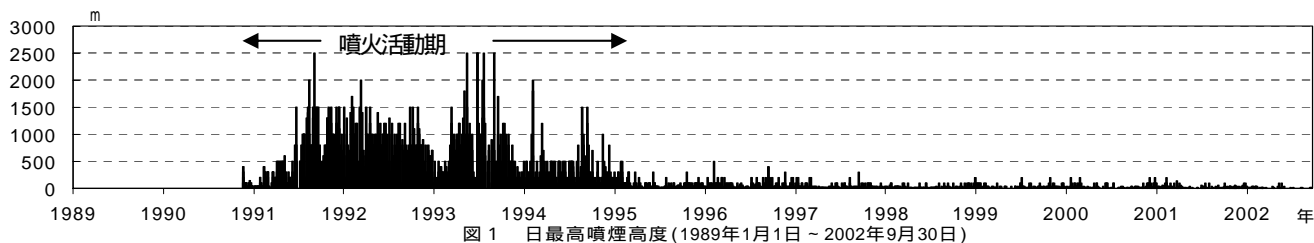
A型地震を13回(8月9回)観測しました。B型地震、火山性微動、落石震動は観測していません(図2、図3、図6、図7)。

地殻変動活動の状況

GPSによる地殻変動観測では、雲仙岳測候所 - 田代原、雲仙岳測候所 - 垂木台地、田代原 - 垂木台地の各観測点間の3つの基線長に変化は見られませんでした(図9)。

機動観測の状況

9月9～12日に機動観測を実施しました。平成新山山頂部の表面温度分布は図12のとおりで、最高温度は105.7℃でした(赤外熱映像装置による平成新山山頂の撮影は今回が初めてです)。



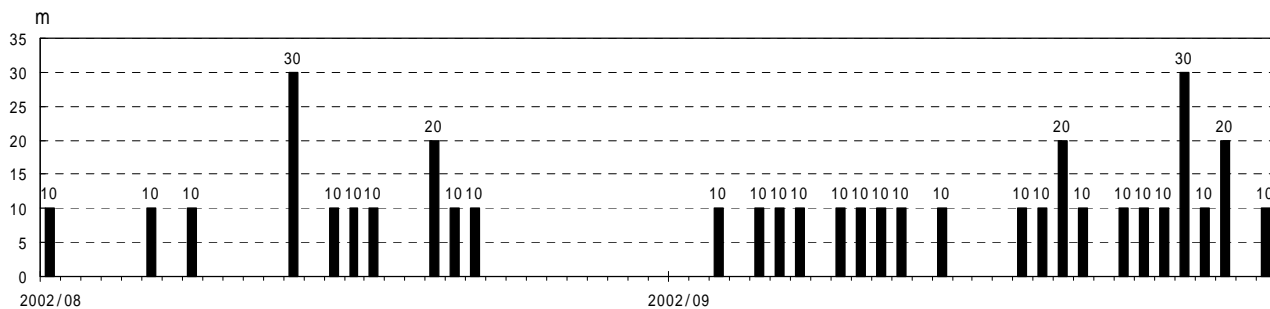


図5 日最高噴煙高度(2002年8月1日～9月30日)

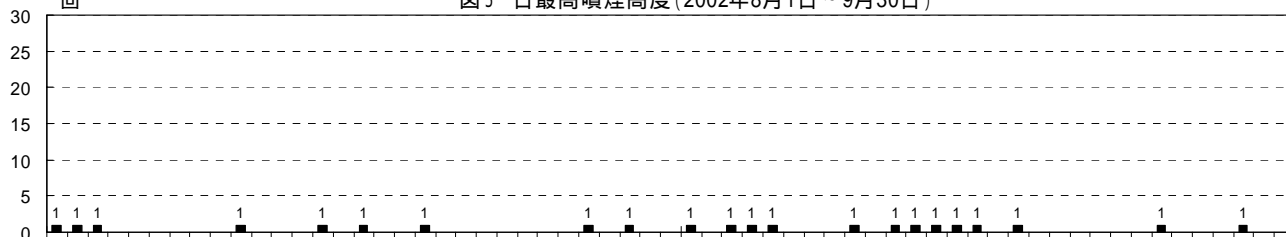


図6 A型地震日別回数(2002年8月1日～9月30日)

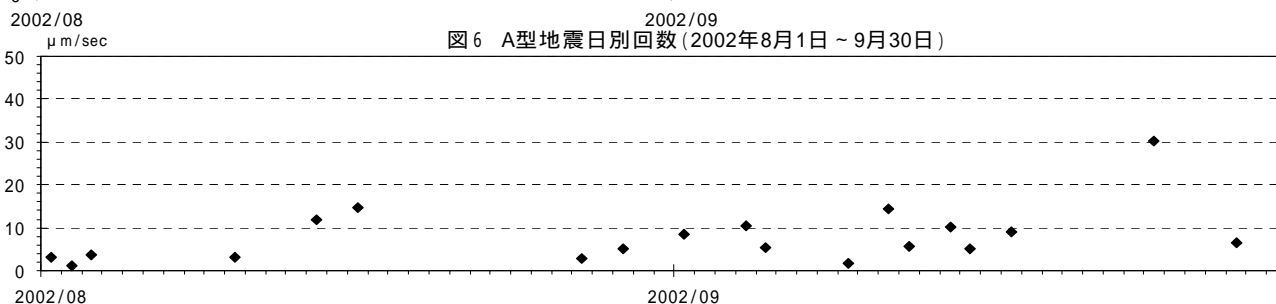


図7 A型地震の振幅の時系列変化(2002年8月1日～9月30日)

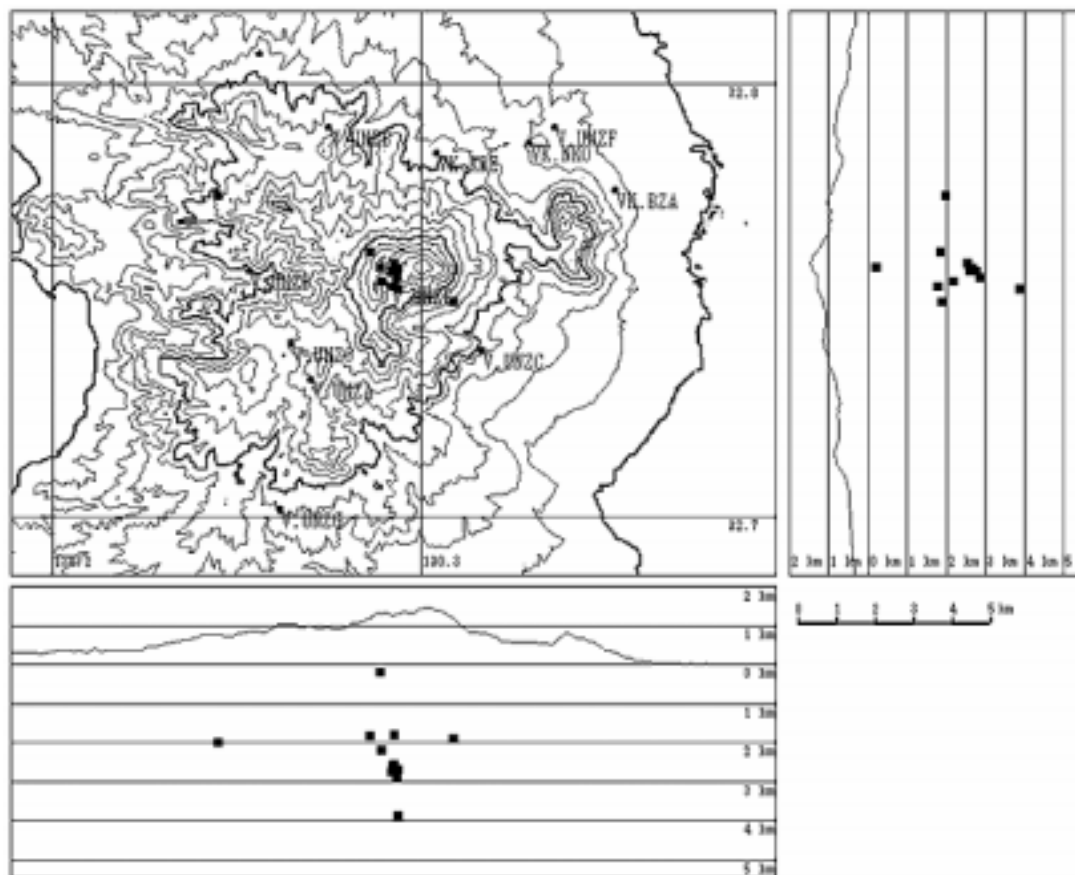


図8 震源分布図(2002年8月1日～9月30日)

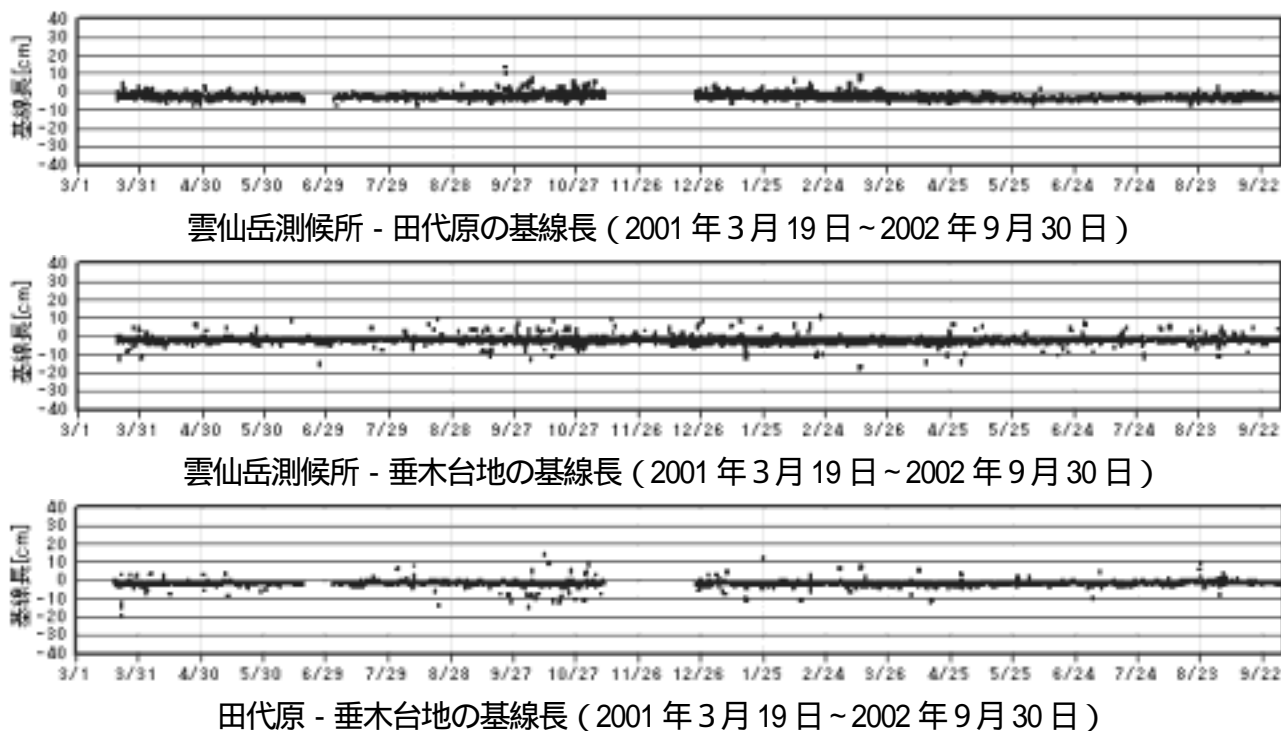


図9 GPSによる基線長

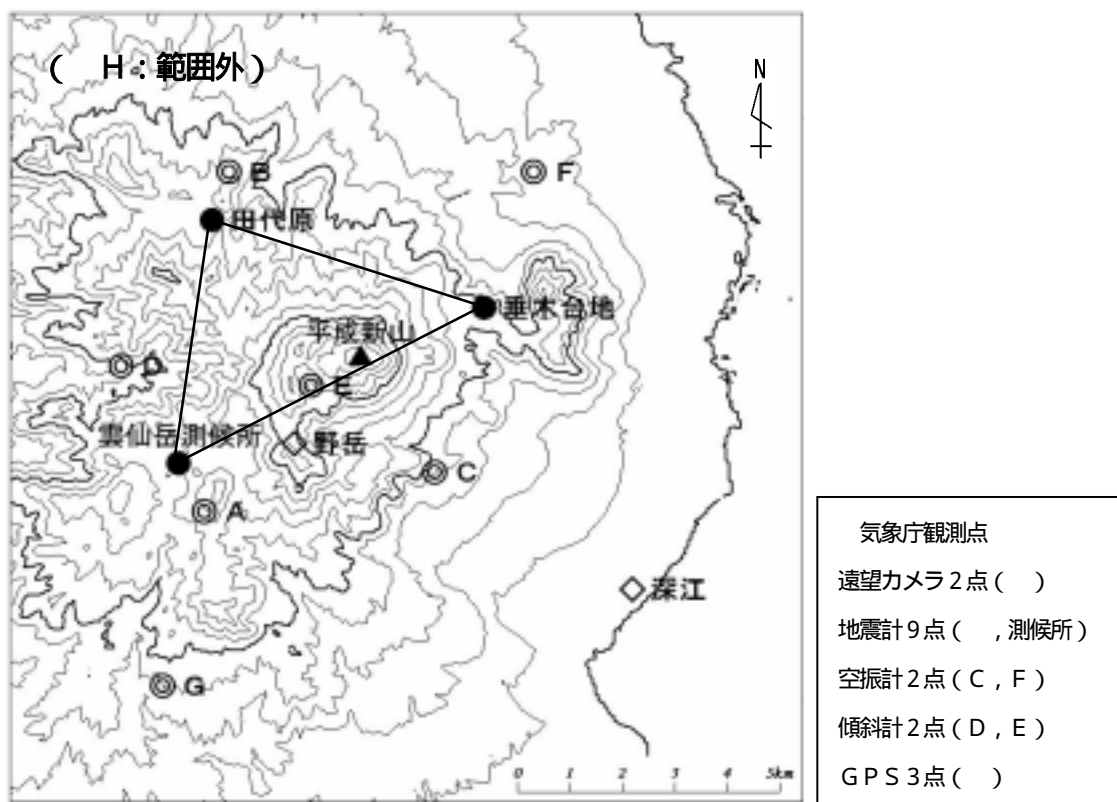


図10 観測点位置図



図 11 平成新山山頂部
(平成新山山頂西側から撮影)
(2002 年 9 月 10 日)

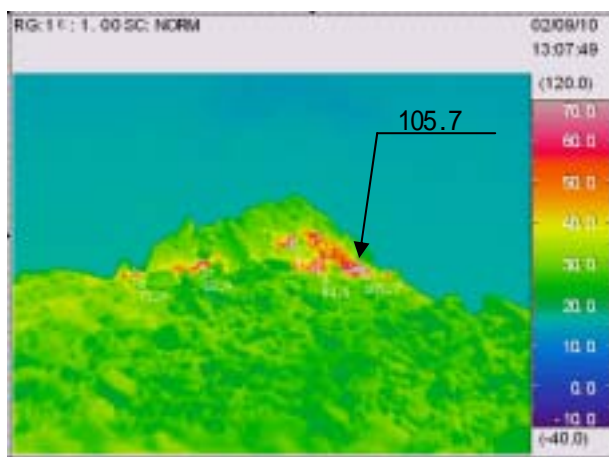


図 12 赤外熱映像装置による表面温度分布
(平成新山山頂西側から撮影)
(2002 年 9 月 10 日)